

受験番号

◎ 指示があるまで開かないこと。

令和7年2月13日 午前用
---------------

## 第76回獣医師国家試験 実地試験問題 (C)

### 注意事項

1. 問題数は60問であり、解答時間は2時間である。
2. 解答方法は次のとおりである。

〔1〕 各問題には5つの選択肢があるので、そのうち質問に適した答えを1つだけ選び、次の例にならって答案用紙にマークすること。なお、1問につき2つ以上マークした場合には、そのうちの1つが正答であっても誤りとして取り扱われる。

(例) 問61 我が国で獣医師国家試験事務を受けもっている省はどれか。

1. 厚生労働省
2. 文部科学省
3. 農林水産省
4. 外務省
5. 国土交通省

正答は「3」であるから、答案用紙の

61 E 1 ☐ E 2 ☐ E 3 ☑ E 4 ☐ E 5 ☐のうちE 3 ☑を横線で、  
61 E 1 ☐ E 2 ☐ ~~E 3 ☑~~ E 4 ☐ E 5 ☐とマークすれば良い。

〔2〕 答案用紙のマークには、必ずHBの鉛筆を使用し、次の良い例のとおり、塗りつぶさずに線を引くこと。

良い例…… 悪い例……

〔3〕 答えを修正する場合は、必ずプラスチック製の消しゴムで完全に消し、消し跡や消しクズが残らないようにすること。消し方が悪いと採点されないの  
で注意すること。

〔4〕 答案用紙は、折り曲げたり、メモやチェックなどで汚したりしないよう特  
に注意すること。



問1 犬、柴、去勢雄、12歳齢。けいれん発作後から突然咳をするようになったとの主訴で来院。〔図1〕は胸部単純X線像（A：側方像、B：腹背像）である。最も疑われる疾患・病態はどれか。

1. 胸水貯留
2. 吸引性（誤嚥性）肺炎
3. 肺線維症
4. 陰圧性肺水腫
5. 気管支拡張症

別冊 C  
図 1 - A, B

問2 〔図2〕に示す実験動物に関する記述として正しいのはどれか。

- a 自然生息地は砂漠地帯である。
- b 脳梗塞を容易に誘発できる。
- c よく発達した盲腸をもつ。
- d 嘔吐抑制剤の開発に用いられる。
- e 雌雄ともに腹部に臭腺をもつ。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 2

問3 〔図3〕の節足動物に関する記述として誤っているのはどれか。

1. 皮膚に寄生し、受精後の雌ダニは皮内に長いトンネルを作る。
2. 感染宿主との接触、落下した皮膚片や痂皮などから感染する。
3. 幼若齢の宿主動物は不顕性である。
4. 一般的にイベルメクチンが有効である。
5. 野生動物においても皮膚炎や衰弱が認められる。

別冊 C

図 3

問4 猫、雑種、去勢雄、11歳齢。2か月前からふらつき、最近トイレ以外で排尿してしまうとの主訴で来院。〔図4〕は頭部の視床レベルのMRI横断像（A：T1強調像、B：T2強調像、C：造影T1強調像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 下垂体腫瘍
2. 水頭症
3. 特発性てんかん
4. 髄膜腫
5. 脈絡叢乳頭腫

別冊 C

図 4 - A, B, C

**問 5** 〔図 5〕は養鶏農場の飼養管理者 150 人を対象に、農場における衛生対策の指導方法の効果を検証するための研究デザインの概要である。この調査の研究手法はどれか。

1. 症例対照研究
2. コホート研究
3. 横断研究
4. 介入研究
5. 生態学的研究

別冊 C

図 5

**問 6** 〔図 6〕は皮膚を除去した犬の頸部から体部の肉眼像である。図中の矢印で示す筋はどれか。

1. 僧帽筋頸部
2. 鎖骨頭筋頸部
3. 鎖骨上腕筋
4. 胸骨頭筋後頭部
5. 肩甲横突筋

別冊 C

図 6

問7 〔図7 - A〕はある感染症に罹患したウサギの外貌、〔図7 - B〕は肺の肉眼像である。この感染症に関する記述として適切なのはどれか。

1. 我が国での発生報告はない。
2. 原因ウイルスはカリシウイルス科に属する。
3. 2か月齢未満の若齢ウサギの発症例が多い。
4. 発症後の致死率は10%程度である。
5. 「家畜伝染病予防法」において家畜伝染病に指定されている。

別冊 C  
図7 - A, B

問8 猫、雑種、去勢雄、2歳齢。1週間程前から呼吸が苦しそうとの主訴で来院。〔図8 - A〕は胸部単純 X 線側方像、〔図8 - B〕は病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、×400）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 胸腺腫
2. 異所性甲状腺癌
3. 肥満細胞腫
4. リンパ腫
5. 組織球性肉腫

別冊 C  
図8 - A, B

問9 犬、ポメラニアン、雄、3か月齢。動脈管開存がみられたため閉鎖手術を行ったが、術後2日目に死亡した。〔図9〕は肺の病理組織像（HE染色）である。病変を認める部位はどれか。

1. 小動脈
2. 小静脈
3. 細気管支
4. 肺胞
5. リンパ管

別冊 C  
図 9

問10 〔図10〕は豚新鮮便の直接塗抹標本である。標本内に運動性を示す虫体が検出された。この寄生虫に関する記述として正しいのはどれか。

- a 宿主の大腸に寄生する。
- b シスト（囊子型）を形成する。
- c 有性生殖で増殖する。
- d ヒトには寄生しない。
- e 治療薬としてプラジクアンテルが用いられる。

1. a, b      2. a, e      3. b, e      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 10

問11 犬、ペキニーズ、去勢雄、1歳齢。目が赤く腫れているとの主訴で来院。〔図11〕は右眼の外貌である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 角膜腫瘍
2. 鼻涙管閉塞
3. デスメ瘤
4. 第三眼瞼腺脱出
5. 成熟白内障

別冊 C  
図 11

問12 〔図12〕は食品衛生法に基づき我が国で届け出られた食中毒患者数の年次推移である。図中〔ア〕に該当する食中毒の病因物質はどれか。

1. ブドウ球菌
2. 腸炎ビブリオ
3. カンピロバクター・ジェジュニ／コリ
4. サルモネラ属菌
5. ノロウイルス

別冊 C  
図 12

**問13** 犬、イタリアン・グレーハウンド、雄、1か月齢。嘔吐、下痢、呼吸困難を呈して急死した。〔図13-A〕は剖検時の肉眼像、〔図13-B〕は腎臓、〔図13-C〕は肝臓の病理組織像（HE染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 犬ヘルペスウイルス感染症
2. 犬伝染性肝炎
3. 犬パルボウイルス感染症
4. 犬コロナウイルス感染症
5. 犬ジステンパー

別冊 C  
図 13 - A, B, C

**問14** 犬、柴、去勢雄、8歳齢。一昨日から下痢が続き、今朝から呼吸が速い気がするとの主訴で来院。〔表14〕は動脈血液ガス分析結果である。最も疑われる病態はどれか。

1. 代謝性アシドーシス
2. 代謝性アルカローシス
3. 呼吸性アシドーシス
4. 呼吸性アルカローシス
5. 呼吸不全

別冊 C  
表 14

**問15** 馬、サラブレッド種、雌、10か月齢。疝痛を主徴とし、斃死した。〔図15 - A〕は病理解剖時の腹腔臓器の肉眼像である。矢印で示す部位に硬結感を有する腫瘍性病変が認められた。〔図15 - B〕は矢印部の病理組織像（HE染色）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. クロストリジウム性腸炎
2. 腸石症
3. ロドコッカス・エクイ感染症
4. 普通円虫の幼虫移行症
5. 肝蛭症

別冊 C  
図 15 - A, B

**問16** 猫、雑種、去勢雄、14歳齢。目が見えていないようだと主訴で来院。慢性腎臓病の既往歴があり、収縮期血圧は220 mmHg、〔表16 - A〕は眼科検査所見、〔図16 - B〕は眼底写真である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 突発性後天性網膜変性症
2. 緑内障
3. 網膜出血
4. 進行性網膜萎縮
5. 視神経炎

別冊 C  
図表 16 - A, B

問17 牛、ホルスタイン種、雌、10 か月齢。放牧を始めた数日後、〔図 17〕 のような外貌を呈した。この疾患に関する記述として適当なのはどれか。

1. 蛍光物質を含む植物の多食によって発症する。
2. 病変は背部に限局し、側腹部ではみられない。
3. 強い搔痒感がある。
4. テトラサイクリン系抗菌薬が有効である。
5. 治療が遅れると急性経過をとって死亡する。

別冊 C  
図 17

問18 〔図 18〕 の昆虫類によって媒介される感染症はどれか。

- a アカバネ病
- b ロイコチトゾーン症
- c ナイロビ羊病
- d マラリア
- e ゲタウイルス感染症

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 18

問19 〔図 19〕は、ある微生物の加熱殺菌効果を評価するための解析により得られたグラフである。この微生物の  $t^{\circ}\text{C}$  における D 値 ( $D_{t^{\circ}\text{C}}$ ) はどれか。

1. 1分
2. 5分
3. 10分
4. 15分
5. 20分

別冊 C

図 19

問20 犬、ミニチュア・ダックスフンド、10歳齢、雌。1年前に気づいた右第5乳頭部腫瘍が径 1.5 cm 大に増大したため、外科切除が実施された。〔図 20 - A, B〕は摘出された病変部の病理組織像 (HE 染色) である。最も疑われるのはどれか。

1. 扁平上皮癌
2. 単純腺腫
3. 複合癌
4. 骨肉腫
5. 良性混合腫瘍

別冊 C

図 20 - A, B

問21 嘔吐患者が喫食した食品から主要に分離された細菌を、卵黄を添加した培地に接種したところ、〔図 21 - A〕の発育が認められた。〔図 21 - B〕は分離された細菌のグラム染色像（×1,000）である。最も疑われる細菌に関する記述として適切なのはどれか。

- a 炭疽菌と近縁種である。
- b 芽胞を形成する。
- c コアグラーゼを産生する。
- d 耐熱性のエンテロトキシンを産生する。
- e 発育至適温度は 42～46℃である。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 21 - A, B

問22 〔図 22〕の粒子形態を示すウイルス科ウイルスによる馬の疾患はどれか。

- 1. 馬ウイルス性動脈炎
- 2. 馬鼻肺炎
- 3. 馬脳症
- 4. アフリカ馬疫
- 5. 馬伝染性貧血

別冊 C  
図 22

問23 犬、紀州犬、避妊雌、14歳齢。起立不能となり来院。1か月後に死亡した。

〔図23 - A〕は病理解剖時の胸腔、〔図23 - B〕は矢印で示す病変の病理組織像（HE染色）である。本疾患に関連して生じるのはどれか。

- a 多血症
- b 高血圧
- c 肥大性骨症
- d 重症筋無力症
- e 多発性筋炎

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 23 - A, B

問24 実験動物施設で飼育しているマウスにおいて微生物モニタリングを実施した。

〔図24 - A〕はセロハンテープ法で肛門周囲に認められた虫卵、〔図24 - B〕は盲腸内容物にみられた虫体を示す。このマウスに感染しているのはどれか。

- 1. *Pneumocystis carinii*
- 2. *Encephalitozoon cuniculi*
- 3. *Entamoeba histolytica*
- 4. *Giardia muris*
- 5. *Syphacia obvelata*

別冊 C  
図 24 - A, B

問25 〔図 25〕の搾乳ユニットにおいてクローはどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

別冊 C  
図 25

問26 〔図 26〕は犬の頭頸部単純 X 線側方像である。矢印で示す構造はどれか。

1. 軟口蓋
2. 喉頭蓋
3. 披裂軟骨
4. 甲状軟骨
5. 声帯

別冊 C  
図 26

**問27** 牛、黒毛和種、雌、15 か月齢。発情行動が認められたため膣検査を行ったところ〔図 27〕の病変が認められた。最も疑われる疾患はどれか。

1. 陰門狭窄
2. 肉柱
3. 膣嚢胞（膣嚢腫）
4. 膣炎
5. 子宮頸管炎

別冊 C  
図 27

**問28** 〔図 28〕の節足動物が病原体を媒介する感染症はどれか。

1. 発疹チフス
2. Q 熱
3. 猫ひっかき病
4. ツツガムシ病
5. ウエストナイル熱

別冊 C  
図 28

**問29** めん羊、コリデール種、雌、2歳齢。145日前に自然交配したところ受胎した。1週間前から活力低下し、食欲不振、3日前から振戦や平衡失調などの神経徴候を呈し、起立困難となった。〔表29〕は血液検査結果である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 脂肪肝
2. インスリノーマ
3. 妊娠中毒
4. 乳熱
5. 破傷風

別冊 C 表 29
--------------

**問30** 〔図30〕は牛の精巣機能を検査するための負荷試験の結果である。投与したホルモン剤はどれか。

1. PGF<sub>2α</sub>
2. プロジェステロン
3. hCG
4. eCG (PMSG)
5. デキサメサゾン

別冊 C 図 30
--------------

**問31** 〔図 31〕は大気中で逆転層が発生した時の気温と高度の関係を示したグラフである。この逆転層に関する記述として適切なのはどれか。

1. 逆転層は〔ア〕に形成されている。
2. 沈降逆転に分類される。
3. 層内では大気が安定状態にある。
4. 夏の昼間にみられることが多い。
5. ヒートアイランド現象を発生させる原因の一つである。

別冊 C  
図 31

**問32** 犬、ミニチュア・ダックスフンド、去勢雄、6歳齢。数日前から後ろ足が立たないとの主訴で来院。〔表 32〕は神経学的検査の結果である。病変の局在として最も適切なのはどれか。

1. 小脳
2. C1 - C5
3. C6 - T2
4. T3 - L3
5. L4 - S3

別冊 C  
表 32

**問33** 馬、サラブレッド種、雌、7歳齢。レース運動能力の低下及び異常呼吸音がみられた。死後、病理解剖が実施された。〔図33〕は背側輪状披裂筋の病理組織像（HE染色）である。本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

1. ジストロフィン関連タンパク質をコードする遺伝子の異常が原因である。
2. 常染色体性潜性遺伝性疾患である。
3. 脊髄腹核の下位運動ニューロンの変性が原因である。
4. ビタミンE・セレンウム欠乏が原因である。
5. 反回神経の麻痺により生じる。

別冊 C

図 33

**問34** 〔図34〕の植物の有毒成分はどれか。

1. スコポラミン
2. タキシン
3. ペリラケトン
4. アコニチン
5. プロトベラトリン

別冊 C

図 34

**問35** 牛、黒毛和種、雌、15 か月齢。異性双胎で出生後、春機発動を認めなかった。〔図 35〕は、いずれも本症例の染色体検査像である。本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

1. 異性多胎の雌はいずれも春機発動を認めない。
2. 異性多胎の雄は精子形成の異常を認める。
3. 中腎管の部分的形成不全が特徴的である。
4. 核型は 60、XX/90、XXY のモザイクとなる。
5. 同様の染色体異常は牛以外の動物でも認められる。

別冊 C

図 35

**問36** 〔図 36〕は我が国の野生鳥獣による農作物被害額の推移を示している。図中の〔ア〕に該当する動物はどれか。

1. クマ
2. アライグマ
3. ヌートリア
4. サル
5. イノシシ

別冊 C

図 36

問37 〔図 37〕は、発熱と黄疸を呈した豚から分離された病原体である。この病原体・疾患に関する記述として正しいのはどれか。

- a 妊娠豚が感染すると流産をおこす。
- b 我が国の豚で発生報告がある。
- c 雌雄同体である。
- d 宿主特異性が高い病原体である。
- e 中間宿主はミミズである。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 37

問38 犬、雑種、去勢雄、8歳齢。2週間程前から食後すぐに吐いてしまうとの主訴で来院。〔図 38〕は胸部単純X線側方像である。最も疑われる疾患はどれか。

- 1. 食道内異物
- 2. 横隔膜ヘルニア
- 3. 巨大食道症
- 4. 血管輪異常
- 5. 食道裂孔ヘルニア

別冊 C  
図 38

問39 [図 39] のゲノム構造をもつウイルスが引き起こす疾患はどれか。

1. 豚繁殖・呼吸障害症候群
2. 豚流行性下痢
3. 東部馬脳炎
4. 豚水疱病
5. 日本脳炎

別冊 C

図 39

問40 犬、ポメラニアン、去勢雄、9歳齢。1年前からみられていたガーガーという咳が2か月前より悪化したとの主訴で来院。BCS 8/9、体温 38.9℃、心拍数 96回/min、呼吸数 24回/min、左側心尖部を最強点とするグレード 2/6 の心雑音が聴取された。〔図 40〕は胸部単純 X 線像（A：吸気側方像、B：呼気側方像、C：背腹像）である。咳の原因として最も疑われるのはどれか。

1. 気管虚脱
2. 心原性肺水腫
3. 胸水貯留
4. 肺腫瘍
5. 肺葉捻転

別冊 C

図 40 - A, B, C

**問41** 牛、交雑種、去勢雄、2歳齢。肥育中期の肉用牛で、1か月前から食欲が徐々に低下し、ウサギ様の小糞塊を少量排出するようになった。頻繁に背弯姿勢をとり尾を挙上していた。〔図41〕は病理解剖時に得られた消化管の一部の肉眼像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 腸捻転
2. 腸重積
3. 結腸鼓脹症
4. 脂肪壊死症
5. 肥満牛症候群

別冊 C  
図 41

**問42** 犬、ボーダー・コリー、去勢雄、9歳齢。口が痛いのか食べづらそうとの主訴で来院。〔図42 - A〕は症例の口腔内の外貌、〔図42 - B〕は生検組織の捺印標本（ライトギムザ染色、×400）である。本疾患に関する記述として適切なものはどれか。

1. 黒色便が特徴的である。
2. 鼓室胞から発生する。
3. リンパ節転移はまれである。
4. 歯肉発生のもものと比較して予後が悪い。
5. ドキソルビシンが著効する。

別冊 C  
図 42 - A, B

問43 〔図 43〕は結紮法の模式図である。外科結びはどれか。

1. ア
2. イ
3. ウ
4. エ
5. オ

別冊 C

図 43

問44 〔図 44〕はある人獣共通感染症のヒトにおける発生報告地図である（1967-2023年）。この感染症はどれか。

1. マールブルグ病
2. エムポックス（サル痘）
3. エボラ出血熱
4. 中東呼吸器症候群（MERS）
5. リッサウイルス感染症

別冊 C

図 44

問45 〔図 45〕は犬の脛骨の単純 X 線像（A：側方像、B：頭尾像）である。本症例の骨折に対する固定法として最も適当なのはどれか。

1. サークラージワイヤー法
2. 中和プレート法
3. 圧迫プレート法
4. 髄内ピン固定法
5. 創外固定法

別冊 C  
図 45 - A, B

問46 〔図 46〕は、ある寄生虫に感染した哺乳類家畜の筋肉組織像（HE 染色）である。この寄生虫に関する記述として正しいのはどれか。

- a 雌雄同体である。
- b サールス現象を用いた免疫沈降反応で検出できる。
- c 常に宿主体内に寄生し、外界に出ない生活環をもつ。
- d 虫卵周囲沈降反応で検出できる。
- e ヒトには感染しない。

1. a, b      2. a, e      3. b, c      4. c, d      5. d, e

別冊 C  
図 46

問47 〔図 47〕は牛舎の模式図である。この飼養形態はどれか。

1. タイストール
2. フリーストール
3. フリーバーン
4. 牛房飼い
5. スタンション

別冊 C

図 47

問48 犬、ポメラニアン、雌、2歳齢。散歩中に左後肢を時々挙げるとの主訴で来院。〔図 48〕は左後肢の単純 X 線像（A：側方像、B：頭尾像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 前十字靭帯断裂
2. 膝蓋骨外方脱臼
3. 膝蓋骨内方脱臼
4. 内側側副靭帯断裂
5. 膝蓋骨骨折

別冊 C

図 48 - A, B

**問49** 〔図 49〕は令和 4 年度食肉検査等情報還元調査に基づき、食鳥検査において全部廃棄となったブロイラーの羽数割合を示す。感染症〔ア〕はどれか。

1. サルモネラ症
2. 大腸菌症
3. トリメタニューモウイルス感染症
4. ブドウ球菌症
5. マレック病

別冊 C

図 49

**問50** 犬、ミニチュア・ダックスフンド、避妊雌、13 歳齢。口の中にできものができたとの主訴で来院。〔図 50 - A〕は口腔内の肉眼所見、〔図 50 - B〕は病変部の細針吸引細胞診像（ライトギムザ染色、×400）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 線維肉腫
2. 扁平上皮癌
3. 悪性黒色腫
4. 歯肉腫
5. 棘細胞性エナメル上皮腫

別冊 C

図 50 - A, B

**問51** 犬、ミニチュア・ダックスフンド、去勢雄、12歳齢。昨日より左眼の下が腫れているとの主訴で来院。〔図51 - A〕は症例の外貌、〔図51 - B〕は病変部の単純X線像である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 鼻腔内腫瘍
2. 眼窩内腫瘍
3. 根尖周囲膿瘍
4. 無菌性結節性脂肪織炎
5. 歯牙腫

別冊 C  
図 51 - A, B

**問52** 馬、サラブレッド種、雌、2歳齢。レース後に左前肢跛行を呈した。〔図52〕は患肢の単純X線像（A：背外側 - 掌内側斜位像、B：屈曲背側近位 - 背側遠位像）である。骨折部位はどれか。

1. 第3中手骨
2. 第4中手骨
3. 橈側手根骨
4. 第3手根骨
5. 近位種子骨

別冊 C  
図 52 - A, B

**問53** 〔図 53〕は「感染症の予防及び感染症の患者に対する医療に関する法律（感染症法）」に基づくある感染症の届出数である。この感染症はどれか。

1. 細菌性赤痢
2. 結核
3. トラコーマ
4. Bウイルス感染症
5. エムポックス（サル痘）

別冊 C

図 53

**問54** 〔図 54〕は犬の門脈造影 X 線像（A：側方像、B：腹背像）である。最も疑われる疾患はどれか。

1. 門脈奇静脈シャント
2. 肝外性門脈後大静脈シャント
3. 肝内性門脈後大静脈シャント
4. 多発性門脈体循環シャント
5. 原発性門脈低形成

別冊 C

図 54 - A, B

**問55** 牛、ホルスタイン種、雌、4歳齢。分娩70日後まで発情を認めなかった。〔図55〕は左右の卵巣の超音波検査像である。10日おきに3回超音波検査を行ったが、変化を認めなかった。本疾患の治療に用いるホルモン剤として最も適切なものはどれか。

1. hCG
2. FSH
3. プロジェステロン
4. GnRH
5. PGF<sub>2α</sub>

別冊 C

図 55

**問56** 犬、雑種、去勢雄、12歳齢。3か月前より時々尿に血が混ざり、2日前よりぼたぼたとしか出ず、元気がないとの主訴で来院。〔表56 - A〕は血液検査結果、〔図56 - B〕は下腹部単純X線側方像である。まず実施すべき処置として最も適切なものはどれか。

1. 逆行性尿道水圧推進法
2. 陰囊前尿道造瘻術
3. 尿酸化剤の投与
4. グルコースとレギュラーインスリンの静脈内投与
5. 前立腺の大網被嚢術

別冊 C

図表 56 - A, B

問57 〔図 57〕 はある地域で発生した牛の感染症の流行曲線である。この流行曲線から読み取れる特徴はどれか。

1. 一過性の流行を示す。
2. 季節変動を示す。
3. 散発的な発生を示す。
4. 常在性の発生を示す。
5. 汎流行性の発生を示す。

別冊 C  
図 57

問58 〔図 58〕 に示す球菌の配列と主にその配列を形成する球菌の組合せとして適当なのはどれか。

1. ア — *Streptococcus suis*
2. イ — *Clostridium perfringens*
3. ウ — *Aerococcus viridans*
4. エ — *Staphylococcus aureus*
5. オ — *Enterococcus faecalis*

別冊 C  
図 58

問59 3週齢の交雑種豚で、食欲低下、活力不振、皮膚の紅斑が認められた。〔図59〕は症例の外貌である。本疾患に関する記述として正しいのはどれか。

1. 原因菌は *Streptococcus suis* である。
2. 12月～2月の寒冷期に発生が多い。
3. 特徴的な病変は皮膚に局限してみられる。
4. 原因菌はストレプトマイシンに感受性が高い。
5. 予防には不活化ワクチンが用いられる。

別冊 C

図 59

問60 〔図60〕は犬の左後肢の単純X線像（A：側方像、B：頭尾像）である。所見として最も適当なのはどれか。

1. 膝蓋靭帯断裂
2. 脛骨粗面裂離
3. 総踵骨腱断裂
4. 脛骨近位部の骨吸収
5. 腓骨骨折

別冊 C

図 60 - A, B







